

➤ 高齢者等の避難支援に対してどのように取り組んでいくか？

人手が不足するなか、高齢者等への避難支援をどうするか？

➤ 支援する対象者を減らせないか、支援してくれる人を増やせないか

家族や親せき・知人、サービス事業者、ケアマネジャーの助言等、自らが日ごろ持っている資源や人脈、利用しているサービスを活用し避難いただく

(例1) 豊岡地域・・・90歳代の高齢者夫婦を台風最接近の前の日に高屋の嫁ぎ先宅へ娘が車で送迎している。(平成29年台風18号以降、区から言われなくても習慣となっている) ●きっかけは区長さんから高齢者夫婦への声掛け

(例2) 豊岡地域・・・80歳代の高齢女性を当該地域に避難準備・高齢者等避難開始が発令された時点で、息子の妻の実家から車で迎えに来てもらうようルール化している。(平成30年7月豪雨以降の取組) ●きっかけは息子さんからの提案

(例3) 豊岡地域・・・要介護で家族の支えでも自宅2階避難が困難な父を避難準備・高齢者等避難開始の発令のタイミングで介護タクシーを利用し、娘とともにコミュニティセンターへ避難している。●訓練までは垂直避難を想定していたが、2016年度の市民総参加訓練で自宅内垂直避難訓練を行った結果、階段幅から実際は無理だと分かった。

(例4) 日高地域・・・高齢者夫婦のうち、夫については、予めケアマネジャーの支援により、平時利用しているショートステイを緊急に利用し、高齢者入所施設へ予防避難を行っている。(施設側も常に対象者を意識されている) ●ケアマネと施設、当事者連携から